

平成二十九年 入学試験 (平成 28 年 12 月 2 日)

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

アリストテレスはカタルシスという仮説で芸術の弁護をした。人を殺す芝居を見て、なぜ、観客が(あ)カイカンを感じるのか。現実には殺人が行なわれてならないのはいうまでもないが、これが舞台上で行なわれるのを見て人間が美を感じるのは、われわれ人間の心の中に生ずる有毒なものを演劇という下剤で浄化(カタルシス)するのだと説明した。芝居もレクリエーション、忘却の一形式と考えられる。逆に、忘却もカタルシスにきわめてよく似ている。酒の効用もまたカタルシスの効用であるとしてよからう。机の前にしばりつけられている勉強家よりも、スポーツマンの方がかえっておもしろい仕事をしたり、いい成績をあげたりすることがあるのも、汗を流して運動するのが、カタルシスとしてすぐれていることを物語っている。スポーツか勉強か(一)のように考える向きが多いのは、スポーツをしたらあともできないほどにスポーツ淫(いん)することからおこる誤解である。(A)いかに酒が百薬の長だからといって、酒びたりになつていけばアル中になるのは必定だ。

入浴も気分一新に効果がある。日本人は風呂好きといわれ、イギリスの大学生寮では日本人を泊めるのはいいが、湯の消費が多くなって困るといつてこぼしているそうだが、この多湿多雨の(い)フウドでは入浴は欠かすことのできない衛生法である。だが、ことはそれだけにとどまらない。精神衛生から見ても、ひと風呂浴びて、さっぱりするのは、健康的である。カタルシス効果もきわめて大きい。

しかし、頭にたまっていることをきれいにするには、やはり歩くことも適しているようである。古来、ものを考える人が散策をし(注)逍遙(しやうよう)をするのは偶然ではない。京都の東郊、鹿ヶ谷(し)には、哲学の小径(こみち)というのがある。学者たちが思索をしながら歩いた道としては少し足場がわるいし、このごろはひどく荒れたという人もあるが、(B)歩きながら考えるよりも、歩くこと自体に意味がある。

なんとなくまとまらない気持、妙に心にかかること、気になることがあつては、落ち着いてものを読むことも考えることもできない。そんなときは散歩にかぎる。

散歩という言葉はぶらりぶらりのそぞろ歩きを連想させるが、それではカタルシスはおこりにくい。相当足早に歩く。はじめのうちは頭はさっぱりしないが、三十分、五十分と歩きつづけていると、霧がはれるように、頭をとりまいていたモヤモヤが消えていく。

それにつれて、近い記憶がうすれて遠くのことやよみがえってくる。さらに、それもどうでもよくなくて、頭は空っぽのような状態になる。散歩の(う)キョク升はこの空白の心理に達することにある。心は白紙状態(タブララサ)、文字を消してある黒板のようになる。

思考が始まるのはそれからである。自由な考えが生まれるには、じやまがあつてはいけない。

(二)

(三) 不要なものを頭の中から排除してかかる。散歩はそのためにもっとも適しているようだ。ぼんやりしているのも、ものを考えるにはなかなかよい状態ということになる。勤勉な人にものを考えないタイプが多いのは偶然ではない。働きながら考えるのは困難である。歩くのは仕事ではない。だから、心をタブララサにする働きがある。時間を気にしながら目的地へ急ぐのでは、同じく足早に歩いても思考の準備にはならない。

ものを考えるには、適当に怠ける必要がある。そのための時間がなくてはならない。ながら族というのがある。ラジオをききながら勉強する受験生が(C)その走りだったといわれる。そ

んない加減な気持ちで何ができる、集中しなくては、と大人はやかましくいうが、考えてみると、(D)ながら族にも言い分がありそうだ。

タブララサが望ましいには望ましいが、あまり、何もなさすぎるとかえって落ち着かない。勉強するには、静かな方がいいが、静かすぎると、こんどは静かさが気になる。こういう静寂は一種の騒音効果をもつから、それをうつすら抑えてやる方がいい。黒板に文字が多すぎても困るが、そうかといって、全然何もないのもまた不安である。それですこしじやまを入れておいた方がかえって集中しやすい。製氷するとき水中の気泡を抜かないと、氷が白く濁る。気泡を抜く必要があるが、そのためには水の中へ逆に空気を送り込む。そうすると、小気泡が空気に吸いとられて透明な氷になる。ながら族のラジオにもいくらかそれに似た作用がある。

精神を自由にするには、肉体の一部を拘束して、いくらか不自由にする方がいいらしい。中国の宋時代の詩人、歐陽修が、三上、馬上・枕上・廁上を(ミヨウアンの浮ぶ立場としてすぐれていると考えたのも、それぞれ、完全に自由にならない立場にあるからだといえそうである。馬上にしても、枕上にしても、トイレの中にしても、ほかにすることとてないが、そうかといって、別にほかのことをするわけにもいかない。そういう状況でものを考えるのも、"ながら族"の一種である。歐陽修はながら族の大先輩かもしれない。

われわれは当面のこと、関心のあることに心をひかれる。関心をもつというのは、そのほかのことに心が向かないことで、気にかかる大問題をかかえる人が、ときとして、とんだ失敗をやらかすのは、注意が一点に集中していて、ほかが留守になるためである。

したがって、なるべく、些細なことに関心が向けられている方が精神の自由には好都合である。三上はそういう状態をつくり出すのに適しているということであろう。

ものごとくに執着するのは、心の自由にとって大敵である。人間はどうしても、自分を中心にもものを見、考えがちで、それが関心と呼ばれる。

英語でこの関心のことをインタレスト (interest) というのはおもしろい。インタレストとは利害関係のあることで、したがって、関心ともつながり、おもしろさ、興味ともかかわってくる。何かに関心をもつというのは、それと利害関係をもつことになって、精神の自由はそれだけ制約される。いろいろな知識をもっているというのは、さまざまな利害関係でがんじがらめになっていることを意味する。そういう頭脳では自由奔放なことを考えるのは困難であろう。

そこで、自然の、あるいは意識的な、忘却が必要となる。もろもろのインタレストのきずなから解放されるのが忘却で、それには日常性からの離脱が求められる。仕事や勉強だけしては、忘れることが難しく、利害関係の網の目からもがれられない。

三上はささやかな日常性からの遊離である。自棄酒はかなり大きな現実否定になろう。(注2) 出家、隠遁、雲水の旅に漂泊するというのは、生涯をかけたカタルシスである。

そうして、心をしばるもろもろの関係を切りおとして、無心の境に達して悟りが生まれ、発見が可能になる。英語の disinterestedness は、公平で私心のない状態の意味だが、インタレストを超越したということである。これが容易に達することのできない心境であることは(注3) シュウヨウの上でもいいうることだが、思考においても、このディスインタレストネスこそ最高のタブララサである。

ものを考えようとすれば、ある特定の問題に心を寄せなくてはならないが、関心をもつとたちまち、心の磁場にゆがみが生じる。ものがあるべきように見えないで、あつてほしいと思う形をとるようになる。思考は不自然にならざるを得ない。はげしい関心をもちながら関心の拘束から自由になる。インタ

レストをもちながらデイスインタレストドネスの状態をつくり出さなくてはならない。

(E) 思考の逆説はそこにある。

(外山滋比古『知的創造のヒント』講談社現代新書、による)

注1 逍遥する…気ままにあちらこちら歩くこと。

注2 出家…世俗の生活を捨て、僧となつて仏道を修行すること。

隠遁…俗世間を逃れて隠れ住むこと。

雲水…行方を定めないで諸国を行脚する修行の僧。

問一、傍線部(あ)～(お)のカタカナの部分と同じ漢字を使うものを、次の各群の1～4のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

【あ：解答番号1、い：解答番号2、う：解答番号3、え：解答番号4、お：解答番号5】

(あ)	カイカン	1、理カイ	2、カイ始	3、カイ妊	4、カイ活
(い)	フウド	1、角ド	2、激ド	3、ド壊	4、ド力 <small>りよく</small>
(う)	キョクチ	1、チ識	2、チ命傷	3、チ下鉄	4、血糖チ
(え)	ミヨウアン	1、奇ミヨウ	2、寿ミヨウ	3、異ミヨウ	4、ミヨウ星
(お)	シュウヨウ	1、大西ヨウ	2、栄ヨウ	3、内ヨウ	4、ヨウ稚園

問二、空欄 に入る表現としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号6】

1、二律背反 2、二者択一 3、表裏一体 4、三位一体

問三、傍線部(A)「いかに酒が百薬の長であるからといって、酒びたりになっていればアル中になるのは必定だ」とあるが、その内容に近い格言としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号7】

- 1、良薬は口に苦し
- 2、禍わざわいを転じて福と為す
- 3、過ぎたるは猶なほ及ばざるが如し
- 4、鶏口と為るとも、牛後と為ること無かれ

問四、傍線部(B)「歩きながら考えるよりも、歩くこと自体に意味がある」とあるが、それはなぜか。もっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号8】

- 1、歩きながら考える、という二つのことを同時に行うよりも、歩くことだけに集中した方が気分一新に効果があるから。
- 2、何となくまとまらない気持ちや気になることがあるのでは、落ち着いて本も読めないのだから、歩くことしかできないから。

- 3、どこまでも歩けば良いわけではなく、哲学の小径という場所を歩くことによって、先人たちの気持ちが理解できるから。
- 4、歩くことによって関心が一つのことにと縛られず、心が無心の状態になり、頭の中をさっぱりさせることができるから。

問五、空欄 に入る接続表現としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号9】

- 1、なぜなら 2、まず 3、まして 4、たとえば

問六、傍線部（C）「その走り」の意味としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号10】

- 1、先駆者 2、中心人物 3、関係者 4、指導者

問七、傍線部（D）「ながら族にも言い分がありそうだ」とあるが、「言い分」とはどういうものか。もっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号11】

- 1、ラジオを常に聴きながら勉強することで、カタルシスの効果が大きいことが立証されたこと。
- 2、ラジオを流しながら勉強することで、精神の自由にとって効果的な環境が保たれるということ。
- 3、ラジオを流しながら勉強することが、集中力を高めるための効果的なトレーニング方法だということ。
- 4、ラジオから流れる音楽には気分を一新させる効果があり、受験勉強にもますます集中できるということ。

問八、傍線部（E）「思考の逆説」とはどういうものか。もっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号12】

- 1、ものごとくに執着しながらも、日常生活の中で自分を取り巻く利害関係の網目から解放される必要があるということ。
- 2、一つの関心事に心を奪われるよりも、いくつかの事を同時に行うことで互いの事柄に相乗効果が期待できるということ。
- 3、馬上・枕上・廁上のように、肉体の一部を拘束して完全に自由にならない立場に自分を置いた方が集中できるということ。
- 4、ものを考えるためには、ある特定の問題に激しく関心を持ち、心の磁場にゆがみを生じさせることが大切であるということ。

問九、本文の内容と合致するものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号13】

- 1、学者たちが思索をしながら歩くのは、ぶらりと歩くことでカタルシス効果が期待でき、新たな発見に役立つと考えられるからである。
- 2、ひとつの事にのめり込むのは心の自由を奪う原因となり、様々な方面に関心を抱くことが心身の健康維持に必要なことである。
- 3、仕事や勉強だけしていると日常に関心が持てなくなり、徐々に現実否定などの症状が現れ、思考力低下につながるものである。
- 4、思考というものは大変静かで落ち着いた環境の中で行うよりも、少々不自由な環境の中で行う方がより集中しやすいものである。

二、次のA～Fを読みなさい。段落の順序をととのえて要旨がはっきりした文章にするには、1～4のどの順序が良いか。もつとも適当なものを選びなさい。

【解答番号14】

- A どんな人間でも悪い面を持っているし、最初からいいことだけをやらせていけば、全部よくないと思うのは思い違いもはなはだしい。そんな追い詰められ方をしたら、息苦しくってしょうがないし、つらくなってしまう。
- B 「堂々と盗みに行つて、相手を殺してやろう」なんてのがいたら、それはもう極悪だけど、人間っていうのはなかなかそこまではいなくて、誰もがプチ善の一面と、プチ悪を持っていると思います。
- C 極悪まで行かないためには、子ども時代に「自分にはプチ善もあれば、プチ悪もあるけれど、どっちに行こう」って迷いながら悩みながら育っていくことが大切で、そういう中で「これはいかん」という局面をなんとか乗り越えながら、一人前の大人、一人前の社会人になっていく。
- D 僕は思うのだけれど、人間っていうのは生まれつきの素晴らしい人もいなければ、生まれつきの極悪人もいないんじゃないでしょうか。
- E そのところが人間の一番いいところで、それをすつ飛ばして、最初から悪いヤツはクビ斬つちまえばいいというのでは社会は成り立っていかないと思います。

- F いいこともちよつとしてみたいし、人目がなかったら、そこになってるリンゴをちよつとかじつてみたい。おなががすいていたら、そうした誘惑に駆られるのが人間という生き物でしょう。

- 1、A・E・D・F・C・B
- 2、A・F・B・C・D・E
- 3、D・E・B・C・A・F
- 4、D・F・B・C・E・A

三、15～19について、正しい読みを1～4から選びなさい

【解答番号15～19】

- 15 搔痒 1、ちゅうよう 2、かいよう 3、かくよう 4、そうよう
- 16 毅然 1、きぜん 2、こくぜん 3、こつぜん 4、しゃくぜん
- 17 白湯 1、しろゆ 2、しらゆ 3、さゆ 4、さらゆ
- 18 安堵 1、あんちよ 2、あんちよく 3、あんじゃ 4、あんど
- 19 疲弊 1、ひはい 2、ひへい 3、ひろう 4、ふはい

四、20～22について、「」内の意味になるように、■に入る一字を1～4から選びなさい。

【解答番号20～22】

- 20 大言■語：「できそうにもない、大きなことを言うこと」
1、空 2、想 3、壮 4、虚
- 21 ■飲馬食：「むやみにたくさん飲食すること」
1、牛 2、虎 3、象 4、暴
- 22 初志■徹：「最初に心に決めたことを、最後までやり通すこと」
1、貫 2、完 3、耐 4、終

五、23～25の語の意味を1～4から選びなさい。

【解答番号23～25】

- 23 慣習 1、毎日繰り返し返される行動
2、社会で受け継がれている生活の習わし
3、意識せずに行動してしまう振る舞い
4、守らなければならない規範
- 24 覚醒 1、目を覚ますこと
2、覚めた目でみること
3、夢を見続けること
4、目覚めが悪いこと
- 25 肉薄 1、本人が直接書くこと
2、線が細いこと
3、身をもって迫ること
4、肉が薄いこと